



タラ漁のため、はえ縄にえさづけ(サンマの切り身)をする漁師さんたち

## お年寄りが 生き生きと それが魅力

ところで、「漁業」で強調されてよい点は、お年寄り、あるいは今でいう熟年齢層の人たちが、生き生きと、それに従事し、なかには八十歳近くの人たちが現役でしかもかくしゃくと働いているということではないでしょうか。これは、沿岸漁業は比較的高齢の人にも従事できる仕事であるという見方ができるのではないのでしょうか。

間瀬の漁業も農業同様、高齢化が問題になり、併せて後継者があとに続かない、という心配をされていたのですが、いくつか話をうかがってみると、これが案外、明るい材料が多いといえます。

それは、漁港がすでに整備され、ある程度大型船が活動できるような状況になれば、現在の二百カイル体制で、北洋関係の減船なんかも手伝って、沿岸漁業に復帰する、あるいは、せざるを得ない？という人がでてくるのではないかと予想と、若い人たちがいろいろな養殖・培養漁業に魅力と生きがいを見つけてくれれば、出稼ぎ者のUターン現象も顕在化

するのではないかと見通しを持てるからです。

「その一例に、現在、間瀬の漁師も若干ではあるが若返りの方向がみられます。とくに生活のかかっている大船といわれる五、六トラスの船は全体に四十歳代が多く、最年少はなんと十六歳の後継者が親と一緒にやっています。三十歳代もいますよ。もちろん数は少ないけど、いままで新しい流れだとも思います。また、漁業は間瀬の人たちの独占的なものではありませぬ。漁師を志す人は、資格を取得すれば(年間百二十日以上漁業に従事するなど条件があります)、だれにでもなれます。もちろん、認定は漁協の資格審査委員会で決定しますが……。まあ、条件とその気にさえなれば、漁師になれます。またそういう方向性や道づけは、ちゃんとつけてあります。でも後継者問題は、漁業全体に言えることだけでなく、口先だけで「後継者育成」といつてもなんにもならないね。その裏づけというか、固めがなければだめだとも思います。例えば、会社のように船をおりた(やめた)あと、年金みたいな生活保障をするような制度が必要だと考えています。それに、漁業は自然を相手に商売しているのだから、休業保障みたいな財政的なバック・アップなんかも今後の漁業には重要な

ことだとも思いますね。そういった体制をつくりながら、魅力のあるまた活力のある漁業の振興を図っていくかなければ衰退するだけだね。こんなことは、いまさら考えるものでは本来ないのだが……。」と本間組合長は話す。

## これからの漁業 が目指す方向性

それでは、これからの漁業はどんな方向をたどっていくのでしょうか。



資源確保のため、車えび、の放流なども実施

ある漁師さんは、この二十年くらいに間に、沿岸漁業で伸びているのは三つくらい条件があるといえます。一つは培養型漁業をやっているところ、二番めは、地先の共同漁業権の中に非常に豊富な資源を持っているところ、三番めは、大消費地に非常に近いところ

見方ができますね。「魚を食べない」理由の大半は調理に非常に手数がかかるとか、骨がひっかかるとか、臭いが出るとか、そういった物理的な問題だといわれます。消費者の手にとどく魚がそのように物理的なトラブルのないものに変わっていけば消費がいま以上に増える可能性もあるという見方



ふるざとの魚料理

## ふるざとの魚料理

間瀬の漁師に伝わる船上でのなべ料理。炭火をおこして、魚などを入れてしまえば、作業中にも出来る。簡易労働食でもある。汁とおかずの兼用版で、なべは古いほど、使いこんだほど、杉の木に味がしみこみうまい。春はタラ、カレイ、夏はワタリガニ、秋はサバやイナダ、冬はアンコウがなべの主流になる。味付けは昔はみそ、今はしょうゆが主流だが、細かいままりのない海の男の料理だ。

ができますね。消費者の本当の希望は、生きていくような魚を自分の好みに応じて食べていく。これが本当の魚消費の姿のように思えます。刺し身になるような鮮度のよいものをつかう。そういう状態は高次の生産技術を要するものかもしれないが、本村の場合、その点では、実に有利なのではないかと考えられます。

## 幾多の問題をかかえ ながらも新たな道を

こう考えてくると確かに現在の漁業は幾多の問題をかかえ、新たな道を求めている現状ですが、間瀬の漁業は、せっかくの持てる力

## 「間瀬漁業はいま」

「なんて大そうなたイルをつけた割には、中味がなつかかりしたかもいれませぬ。いままであまり漁業のことにはふれたことがなかったんで、それでは、と今回取り組んでみたのですが、幅の広さに圧倒されて視点を失ったことをお詫びします。でも、これは一つのステップです。今後、漁中の農業問題とともに焦点を絞りながら、対応していきたいと思えます。とくに、人をクローアップしながら……。」

## 青少年の健全 育成を考える



## 地域懇談会

青少年の健全な育成について、地域の大人としてのよう子供たちをほぐくみ、かわわっていったらいいの、また現状を正しく分析しながらみんなで考える機会を——と青少年村育成会議(鳳気至道雄会長)では、こども学校やPTAと共催で「青少年の健全育成を考える地域懇談会」を開きます。

各地区での諸問題やふだん感じていることなど、この機会にお聞かせください。日程は次のとおりですが、時間はいずれの会場も午後七時半から九時までです。

## 地域懇談会日程

区分	期日	会場	お集りいただく地域
小学校の部	7月4日(月)	栄公会堂	橘曾・栄・橋本
		油島公会堂	西船越・新谷・油島・高畑
	7月6日(水)	金池公会堂	金池・石瀬・久保田・猿ヶ瀬
		西中公会堂	西中・湯上・白鳥・西長島・横曾根
	7月8日(金)	北野公会堂	南谷内・北野・夏井
中学校の部		岩室公会堂	岩室
	7月11日(月)	間瀬小学校	間瀬小学校区全域
	7月12日(火)	和納小学校	和納小学校区全域
	7月4日(月)	北野公会堂	南谷内・北野・夏井・西中・西長島
		八幡前集落開発センター	和納8区・9区・11区
	7月5日(火)	岩室公会堂	岩室・橘曾・栄・橋本
		和納区長事務所	和納3区・4区・7区・高橋・富岡
		陸会館	和納12区
	7月6日(水)	和納区長事務所	和納5区・6区・10区
	7月7日(木)	石瀬公会堂	金池・石瀬・久保田・猿ヶ瀬
	高畑公会堂	湯上・横曾根・西船越・新谷・油島・高畑	
	八幡前集落開発センター	和納1区・2区・原・津雲田	
7月9日(土)	間瀬地区公民館	間瀬地域全域	

## 会員募集

—岩室剣士会—

## ぼくたちと一緒にやろうよ

ぼくたちは岩室剣士会の1年生と2年生です。いま32人の仲間が毎週水曜日と土曜日の夜、村民東体育館で練習しています。体を鍛えたい、礼儀作法を習ってみたい、ちょっと興味がある——など動機はなんでもいいけど、みんな、ぼくたちと一緒に剣道をやってみようよ。女の子も大歓迎!

▷対象…小学生のみ ▷練習場…村民東体育館 ▷練習日…毎週水曜日と土曜日の夜7時～9時 ▷会費…月1,500円 ▷申込み・問合せ…岩室村公民館(☎82-4444)か直接練習日に会場へ。